長洲町立長洲小学校　校長便り　№１５３

# みんなの居場所

**裏面の話題**

**みんなの居場所の裏面は、小学生にとって必要ではないかと思う問題、漢字、諺、慣用句等々を載せていきます。ご家族の団らんの話題にしてみてください。会話が広がります。**

令和６年２月５日(月)

## 私の中学時代　～音楽に興味をもち始めました～

中学校に入学してから暫くは生活リズムに馴染むことができず、少々面食らって生活していた私ですが、慣れてくると少年から青年への脱皮を目指し、少しばかり行動範囲、交友範囲を広げていきました。

小学校時代から興味のあった野球はともかくとして、中1の冬休み頃から興味を持ち始めたのは音楽です。その頃は確か山口百恵さんが引退しピンクレディーが人気絶頂?の頃でしょうか、更には私達が中学校時代に松田聖子さんや中森明菜さん、小泉今日子さんたのきんトリオらが相次いでデビューしてくる頃です。しかしながら当時の私は、いわゆるアイドルといわれる方々には多少は興味があったものの、先ず興味が出てきたのは映画音楽でした。実は5年生か6年生だった頃、あの有名な「スター・ウォーズ」を観たんです。その物語に感動し、ついでに音楽にも興味が出たというところです。

映画音楽については映画を観る暇もお金もないので、それだけで立ち消えするのですが、私の通った楠中学校は下校時のBGMがビートルズの「レット・イット・ビー」だったんですね。これがいつでも鼻歌として出てくるようになって、「誰の歌だろう?」とか考えているうちに、周りの仲間がいわゆるLP（今の子供達は知らないでしょうね。）を貸し借りするようになり、「俺にも録音して!」なんて頼むようになりました。当時、コンポーネント・ステレオなどは一部の仲間の家にしかなく、その仲間の家に借りたLPを持ち込んで、カセットテープに録音してもらうのです。そしてそれを家にあった壊れる一歩手前くらいのラジカセで聞くわけです。テープを巻き込んだりしないようにたるみをとったりして、慎重に再生ボタンを押していたのを覚えています。（ノーマル、クローム、メタルの3種類、メタルテープは高かった…）英語の歌詞を必死で覚えたりしていました。録音のレベルが低すぎたり高すぎたりすると聞きにくいので、また友達に頼んで録音しなおしたりして…。当時はエアチェックなんて言葉も流行りました。ビートルズは今でも聞いています。学年が進むにつれ、長渕剛、松山千春にも興味を持ち始め、中学2年生の頃からは長渕剛ばかり聞いていたようです。

この頃から新たに興味を持ち始めたのがラジオの深夜放送でした。当時は空前の漫才ブームで、ビートたけし（北野武）の担当の日が一番面白かったような気がします。中島みゆきさんや所ジョージさんもやっていました。ダラダラと聞くだけですが、番組の世界に引き込まれる感じで、勉強そっちのけで集中して聞いていました。所謂ながら勉強というやつに悩まされた時期でもあります。

中学時代というのは多くのものに興味を持ち、少し背伸びして大人に対抗していく、越えようとしていく時期ですね。今の小学生は少し情報が多すぎて、逆に、何に興味を持っていいのか分からない、興味を持っても長続きしないという状況が続いているようです。私達からすると、少し可愛そうな時代なのかもしれません。でも、後ろ向きの考え方では、子供達を導くことはできません。私達大人は、子供達に色々なことに興味を持たせることは、責任かもしれません。あれもダメこれもダメではなく、情報の取捨選択をさせながら、間違った時は指導しながら、多くの経験をさせていくことが大切です。保護者の皆様、これからの数年間、子供達の予期せぬ興味関心に、驚きませぬように。

## シリーズ「自分を語る」＃１５３

教え子達との待ち合わせ場所は「新橋ガード下」でした。私にとってはワクワクする場所です。東京の新橋というとサラリーマンの街という印象があります。朝の通勤時は足早に駅前を通過するサラリーマンの姿、アフターファイブは、新橋駅の高架下で帰宅前に軽く一杯という風景が浮かんできます。

指定された ガード下の焼き鳥屋さんへ到着。中にはすでに教え子2人が座っていました。数年ぶりの再会です。その間に2人とも結婚し、子供も授かっていました。すっかり大人?と思いきや、教え子達も私も、気持ちはすっかり十数年前の小学生時代に戻っていました。変わったのはお酒を飲んでいることだけです。すっかり勢いがついてしまって、この日の夜はかなりのお酒を頂きました。一度勢いがつき調子に乗ってしまうとどこまでも行ってしまう私澤田。「センセイ、2次会はカラオケに行きましょう!」という誘いに2つ返事でOKしてしまった私は、更なるアルコールに巻き込まれてしまいました。そこから数時間の、教え子達とても楽しく過ごした私は、いざ宿舎へ…?　「あれ?道がわからん…」帰る途中だった教え子に電話して迷子になったことを伝え、迎えに来てもらった上、ホテルまで送り届けてもらう羽目に…。てなわけで何とかホテルにたどり着いた私澤田でした。

次の日…。

アラームに起こされた私は起き上がろうとしますが…;3　体に力が入りません。そうです。完璧な二日酔いでした。前日はそうでもないと思っていたのですが、そうはいかなかったようです。でも、業務は10時から始まります。文科省までの移動を考えると遅くとも9時までには出発しなければなりません。澤田敦、東京で大ピンチ!!　朝食のチケットも見るだけでムカムカするような状況の中、「何かお中に入れておかないと…」と思い朝食会場へ行きました。何を食べようかと思っても思い浮かびません。そこで私が選んだものは、牛乳、トマトジュース、ウーロン茶、ヨーグルト、果物の5つです。欲張って果物を多くとりましたが、全部は食べきれませんでした。

部屋に戻り、準備を整え出発。徒歩で移動していたのですが、あまりに体がだるくて足取りがとても重かったのを覚えています。颯爽と霞が関を歩く姿をイメージしていましたが、かけ離れた姿でふらつく情けない私…。

何とか文科省に到着した私は、受付を済ませて会場に入りました。椅子に座ってしばらくすると、歩いてきたせいか体温も上がり胃の中も撹拌が進んだのでしょう、急に気分が悪くなってきました。とうとうこらえ切れなくなり、文部科学省講堂の多目的トイレに直行です。我ながらこの時は情けなかったですね。文部科学省まで行って、由緒ある建物の講堂の多目的トイレで「キラキラ」を出してしまうのですから。食べたものが軽い物ばかりだったせいか、あまりつらくはなく、ほんのり甘い香りがしていました。しかし、二日酔いというくらいですから、この気分の悪さが帰りの飛行機に乗る前まで残っていました。　（つづく）

※　「みんなの居場所」に関するご意見ご感想をお寄せください。（「みんなの居場所」への掲載の　可　・　不可　）